

～地域に生きる～

# すぎの子はったつ通信

～療育での取り組みから家庭での取り組みへ～

No. 1  
平成30年4月発行



新しい年度が始まり、療育がスタートしています。療育では、お一人おひとり個別の目標に合わせて療育を進めていく中で、お子さまに『見てわかる!』『自分で出来てうれしい!』と思っただけのように、スモールステップで様々な支援のもと、多くの成功経験を積み重ねていただけるよう取り組んでいます。

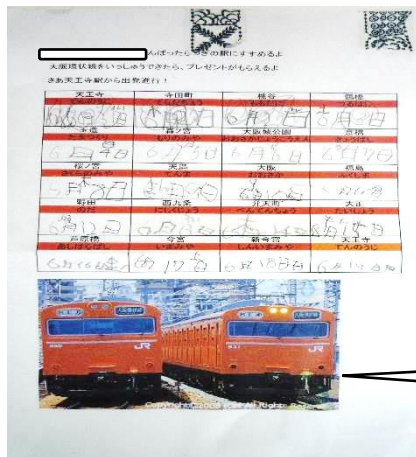
4月号では、昨年度に通っていたお子様と保護者様の取り組みについて、お子様の療育をご覧になられた中で気づかれたことをヒントに、保護者様がおうちで取り組まれた例を紹介させていただきます。

## 保護者向けの研修について

保護者の方に、お子さまについての理解を深め適切な支援の観点やその方法について学んでいただくことを目的としています。また、保護者同士の交流や情報交換なども行っています (\*^ ^\*)  
先日の保護者研修では、療育や家庭、学校での取り組みについての気づきを発表をしました!



## ごほうび表



【取り組む前のお子さまのご様子】  
宿題は、モチベーションが低く取り掛かりにくいことがありました。そこで、ごほうび表を導入し、1回がんばったら1マス書き込むようにし、環状線1周分たまったら好きな鉄道模型を見に行けるようにしました。

【保護者様より】  
ごほうびがあると取り組みやすいこともあると聞き、今までは何もなくてもスムーズにやってくれたらいいなと思っていたが、工夫が1つあるだけで、取り組みやすいことがあると気づきました。



【取り組むときに大切にしたこと】  
こどもの好きなものを取り入れ、モチベーションが上がるようにしました。

## スケジュール (しおり)



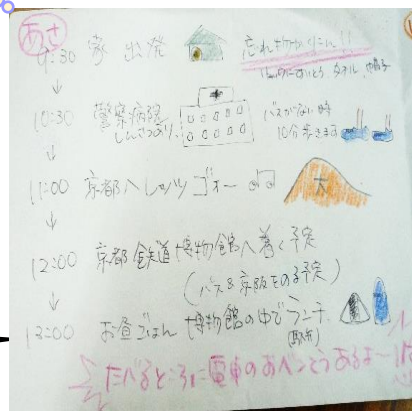
【取り組む前のお子さまのご様子】  
取り組む前は変更を受け入れることが難しく、こどもにとって負担な様子でした。しおり (スケジュール) を作り、出かける前に確認することで、電車やバスの遅延や予定の変更も受け入れることができました。



【保護者様より】  
スケジュールなど、「本当に本人に必要なのか?」と周りに言われたり、こどもの気持ちがわからず、モヤモヤしていたが保護者研修や療育を通して、こどものことが少しずつ理解できるようになり、予定の伝え方なども工夫できるようになりました。



【取り組むときに大切にしたこと】  
こどもにとってマイナスになることを言わないようにしました。どうしたらいいかを **肯定的に伝える** ようにしました。



## 着替え（服の前後）



### 【取り組む前のお子さまの様子】

服の前後がわからず、大人が床に向きを正しておいても、逆に着たりしていました。服の中タグや首もとのタグを意識させようとしたが、上手くいかず、服の前に柄があるもの、前に目印をつけるようにしました。そうすることで、自分で目印を確認している様子があり、逆に着ていることも減りました。

### 【保護者様より】

やってみてうまくできたことがまず嬉しかったです。できれば、タグでわかればいいな…と初めは思っていました。 **こどものわかりやすい、やりやすいやり方でやることを1番大切にしないといけない**と思いました。



### 【取り組むときに大切にしたこと】

印は、 **本人が好きなもの**（バス）をつけるようにしました。印をただつけるだけでなく、（何のための印か）意識できるように初めのうちは着用後に印を確認できるように促しました。

## 朝の準備（幼稚園）

### 【取り組む前のお子さまの様子】

幼稚園ではリュックを背負ったまま、朝の準備をせず遊んでいましたが、リュックにスケジュールをつけたら、自分で確認して準備をすることができるようになりました。家でも「今は2番してる」など、自分で手がかりを見て行動できるようになりました。



### 【保護者様より】

1つ1つ細かく何をするのか伝えていましたが、「今何番？」と伝えるだけでよくなったので、イライラすることがなくなりました。毎日最後は大声で言うてしまうこともありましたが、それもなくなりました。



### 【取り組むときに大切にしたこと】

数字が **好きなもの** と、行動の流れを一目で **見てわかる** ようにしたほうが **子どもに合う** ようなので、絵と文字をセットで一目で見ることができるようになりました。

## エリアの改善



### 【取り組む前のお子さまの様子】

リビングで宿題をしているときは、弟の遊ぶ様子や物音が気になっていました。本人のその日のモチベーションによって集中度合いは異なりますが、1階に変えて注意が逸れてしまうことが減りました。

### 【保護者様より】

口頭でその都度指示することが減りました。宿題や帰宅後の取り組みがどうやったら上手くいくかを **評価しながら色々模索し**、工夫しました。



以前はこのエリアに勉強机があり、集中できませんでした。

### 【取り組むときに大切にしたこと】

なるべく、気が散らないように環境を整えました。スケジュールを示しながら実施しているため、ごほうびのタイミングや量を調整しながら取り組みました。

最後までご覧いただきありがとうございました。いかがでしたでしょうか？保護者様やお子様ご自身による、お一人ひとりに合わせた支援は、どれも素晴らしく、通信では全て紹介しきれないほどでした。ご協力いただいた皆様には、この場をおかりして感謝を申し上げます。

今年度も、各事業所の紹介や、取り組み、プログラム、また、それを踏まえて「お家でやってみました」というお子様と保護者様の実践についてお伝えさせていただきます。

今後も通信を通して、地域の皆様に役立つ情報を発信してまいりたいと思います。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

